WEEKLY REPORT

No.996

国際ロータリー第 2530 地区 郡山アーバンロータリークラブ

国際ロータリー第2530地区ガバナー　鈴木　邦典
会長　佐藤　功一
幹事　鈴木かおる

ロータリー：
変化をもたらす

第 40 回例会　H.30.5.16 ㊌

▶開会点鐘　▶ロータリーソング「それでこそロータリー」
▶四つのテスト唱和　石堂勝壽さん
▶ゲスト　佐藤智佳子様 (希望ヶ丘学園副園長)　遠藤広文様 (郡山市保健福祉部長)

会長挨拶　佐藤 功一 会長

先週の 12 日 (土) に幸手中央ＲＣ創立 20 周年記念式典に参加してまいりました。参加していただいた 9 名の皆さんありがとうございました。和服姿の若い中田会長が開会挨拶をされ、ピアノとコントラバスのコンサートの後、式典が行われました。

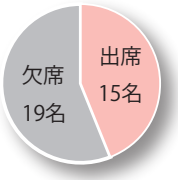
希望ヶ丘学園への支援品贈呈式　滝田 幸子 社会奉仕委員長

希望ヶ丘学園に、パナソニック壁掛け扇風機 2 台、ニコンデジタルカメラ 1 台を贈呈させていただきます。すでにお渡ししておりますので本日は目録をお渡しいたします。

郡山市感謝状授与　遠藤 広文 郡山市保健福祉部長

市長よりお預かりした感謝状をお渡しいたします。日頃から行政へのご協力をいただいておりますことに感謝いたします。今後とも地域共生社会に向けて、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

出席報告　宗形千鶴 委員長



総　　員	34名
出　席　率	44.12%
前回修正率	67.65%

メークアップ／佐藤功一会長　采女真弓さん　大山三起雄さん　小口憲太朗さん　蔭山寿一さん　滝田幸子さん　藤田弘美さん　宮澤キヨ子さん　津野順子さん　長尾　勉さん

スマイルＢＯＸ報告　津野順子 副委員長

☺佐藤　功一▶佐藤智佳子さんのゲスト卓話を楽しみにしています。よろしくお願いいたします。
☺鈴木かおる▶佐藤先生お忙しい中ありがとうございます。
☺滝田　幸子▶遠藤広文様、佐藤智佳子様、お忙しい中おいでくださいましてありがとうございます。
☺石堂勝壽　☺大山三起雄　☺橋本弘幸

幹事報告　鈴木かおる 幹事

6 月 13 日 (水) にペットボトルキャップの回収を行います。例会前に地下駐車場で回収準備をしますので、ご協力よろしくお願いいたします。

プログラム／ゲスト卓話

ゲスト紹介　滝田 幸子 社会奉仕委員長

希望ヶ丘学園への支援は 3 回目になります。学園の現況をお話しいただいて皆さんにご理解をいただき、長くご支援を続けていけるようよろしくお願いします。

郡山市立希望ヶ丘学園　副園長
佐藤 智佳子 様
「希望ヶ丘学園について」

郡山アーバンＲＣ様からご支援をいただきましてありがとうございます。今日は希望ヶ丘学園の紹介とともに、発達障害についてもご紹介をさせていただきたいと思います。

プログラム／ゲスト卓話

スライドとお手元の資料をご覧ください。
希望ヶ丘学園には発達障害と診断されたお子さんたちが通っています。「ひとつのことにこだわりすぎてしまう」「忘れ物が多い」「文章を読むのに時間がかかる」などのことは、一般の人にもあると思いますが、最新の脳科学研究により、生まれつき独特の見え方や聞こえ方をすることが判明しました。
何でもない日常の空間が耐えられないほどまぶしかったり、小さな物音が大音量に聞こえて耐えられない状況になるなど、独特の感覚や認知が社会不適応の原因のひとつとされています。
最近は発達障害を取り上げた番組が増えています。
医療技術の進歩により早期発見が増え、実際に診断されるケースが増えたためと思います。小中学生の 15 人に 1 人が発達障害とされています。環境さえ整えば、また周囲の理解があれば、お互いに過ごしやすくなり、能力を社会で活かすことができます。
希望ヶ丘学園では、障害児相談支援、児童発達支援、保育所等訪問支援を中心に、発達障害の診断を受けた就学前の 3 才から、それぞれのペースで様々な学びができるよう配慮された環境を提供し、支援しております。
お母さんが悩むとお子さんに影響がありますので、不安を和らげるために、お子さんへの理解に努めています。
個別指導が主ですが、一般の幼稚園や小学校に送り出すなど、新たな集団生活に穏やかに移行できるように支援しております。
養育目標は、子供さん本人とご家族の意向に基づく生活の実現と、地域への社会参加です。
どのお子さんも自分らしく過ごせるようになって欲しいと願い、言葉で伝えるよりも見て分かるように、絵や時計などを使っております。
障害児相談支援では、利用する前に障害児支援利用計画を作成し、通所支援開始後には一定期間ごとにモニタリングを行っております。郡山アーバンＲＣのご支援をいただき始めた平成 27 年からスタートし、相談数は年々増えております。
児童発達支援では、未就学児が日常生活における基本動作や知識技術を習得して、集団生活に適応できるように支援するための通所訓練を行います。
この支援はセンターとなる前の昭和 34 年からスタートしております。支援数が 29 年に若干減ったのは、一般の幼稚園や保育所に行くことが可能になるお子さんが増えているということです。障害児相談支援員の作成する障害児利用計画をもとに、個別支援計画を作成し、支援します。施設の持つ専門機能を活かして、地域で暮らす障害のある子供やその家族への相談を受けています。
保育所等訪問支援は、障害児が集団生活に適応できるよう、環境に応じて適切で効果的な支援を行います。保育所に限らず、小中学校にも行って支援をしております。まだ認知度が低いのですが、年々増えております。
今回いただいたデジタルカメラ 1 台と壁掛け扇風機 2 台は、感謝を込めて大切に使わせていただいております。今日は暑くなりましたので、扇風機が大活躍しています。これまでご支援いただいた絵本や、すべり台などの遊具も、子供たちは喜んで使っております。
療育により情報を見る力が付き、自分で考えることができるようになり、落ち着いてきます。得意なことに目を向けて活動が広がり、目的を持って遊ぶようになります。
できることが増えて自信を持ち、自分の思いを人に伝えることができるようになります。ご家族がお子さんを理解し、家庭でも過ごしやすくなります。
今後も一人一人のお子さんへ愛情を持ち、支援をしていきます。お子さんが地域社会で共に過ごせるようになるために、一人でも多くの方に発達障害のことやお子さんのことを知っていただくことが大切だと思います。日頃よりご理解、ご協力をいただき、本日はこのような場を設けていただきまして感謝申し上げます。

ロータリー財団寄付者

味戸誠一郎　鈴木尚子

米山記念奨学会寄付者

津野順子　大山三起雄　白岩邦俊　蔭山寿一
佐藤功一　味戸誠一郎

ポリオ寄付者

鈴木尚子　蔭山寿一　佐藤功一　宮澤キヨ子

▶閉会点鐘

幸手中央ＲＣ創立２０周年記念式典

5月12日(土)に幸手中央ＲＣ創立20周年記念式典が開催され、佐藤功一会長、采女真弓さん、大山三起雄さん、小口憲太朗さん、蔭山寿一さん、滝田幸子さん、藤田弘美さん、宮澤キヨ子さん、長尾勉さんが出席しました。